

平成 26 年度 医療安全管理部 医療安全包括的公表

医療安全管理部
医療安全管理室

海南病院では医療安全対策に関する事案の包括公表を行っています。

1.目的

：患者の知る権利を保障し医療の透明性を確保するため、更に職員に医療安全の意識の向上と事故の再発防止に役立てることを目的とする。

2.対象

：報告の対象となるものは、患者の生死にかかわる極めて重大なものに限らず、医療従事者の明白な過誤による事故のほか、過失がない場合でも予期しない薬剤などによる重大な副作用や、広く社会に警笛を鳴らす意義が大きいと考えられる報告もその対象としている。

3.医療安全報告レベル基準

区分	内 容
レベル0	エラーや医薬品・医療用具の不具合がみられたが、患者さんには実施されなかった。
レベル1	患者さんへの実害はなかった。(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
レベル2	処置や治療は行なわなかった。(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査等の必要性が生じた)
レベル3a	簡単な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
レベル3b	濃厚な処置や治療を要した。(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長)
レベル4	永続的な障害や後遺症が残った。
レベル5	死亡(原疾患の自然経過によるものは除く)

4.公表基準及び内容

：医療安全公表基準は、当院の採用するグレード分類にしたがって報告者の評価によるレベル区分、レベル0からレベル3bまでは包括的な資料として、発生件数及び医療安全対策委員会で検討した内容及び改善策・処置などを包括的公表とする

：レベル4、5の公表に関しては発生の原因が、病院側の過失が明らかである事例については、事例調査検証部会確認にて検討審議し、患者あるいはその家族等の同意及び医療関係者の同意を得て、病院長の決定により公表する。

但し、患者及び家族の同意が得られない場合は原則公表しない。また病院側に過失が無く、家族等の同意が得られた事案のみ原因と再発予防策を公表する。

5.平成 26 年度 医療安全対策 包括公表

(公表基準に基づき、平成 26 年度集計結果を公表。)

1) 平成 26 年度 医療安全報告件数

区分	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	レベル3b	レベル4	レベル5
報告件数	4,118 件					2 件	

：平成 26 年度医療安全報告件数は 4,120 件と昨年度に比べ約 326 件減少し、報告された事案については「項目分類」において、昨年同様「ドレーン・チューブ関

連」と「療養上関連」が全国比率より多くを占めている。ドレーン・チューブ類の「自己抜去」事例や、療養上の世話時「転倒」「転落」事例が多く報告されているためである。転倒の危険性をスコアリング化により事前に予測し、多職種で情報を共有し対策の強化を図っている。

事故レベル4～5ではレベル4で2件発生した。内容は、尿道カテーテル挿入時、尿道損傷し膀胱瘻を造設した事例が1件。高血圧の患者に禁忌であったビジクリアを投与し、腎機能の低下、低カルシウム血症にて入院となったが、その後外来で治療を行ない回復に向かっている事例が1件。

2) 平成26年度 発生件数情報報告

誤った医療の実施の有無

平成26年度

項目	誤った医療の実施の有無			実施あり	合計	当院比率	全国同規模施設比率
	実施なし						
	影響度						
	当該事例の内容が仮に実施された場合						
	死亡もしくは重篤な状況に至ったと考えられる	濃厚な処置・治療が必要であると考えられる	軽微な処置・治療が必要もしくは処置・治療が不要と考えられる				
(1) 薬剤関連	0	0	197	934	1131	27.5%	34.6%
(2) 輸血関連	0	0	23	6	29	0.7%	0.5%
(3) 治療・処置	0	4	90	129	223	5.4%	5.1%
(4) 医療用具	0	1	59	73	133	3.2%	2.6%
(5) ドレーン・チューブ	0	8	814	62	884	21.5%	18.2%
(6) 検査関連	0	0	209	143	352	8.5%	8.5%
(7) 療養上関連	0	14	1070	64	1148	27.9%	23.2%
(8) その他	0	0	219	1	220	5.3%	7.3%
合計	0	27	2681	1412	4120		
当院比率	0.0%	0.7%	65.1%	34.3%	100.0%		
全国同規模施設比率	0.8%	1.7%	34.6%	62.9%	100.0%		

※ 医療事故情報収集等事業・第40回報告書(平成27年3月)全国比率は病床規模別発生件数情報報告(病床数が500～599床の医療機関)より算出した。

：当院は「ヒヤリ・ハット事例収集事業参加登録医療機関」として、財団法人日本医療機能評価機構「医療事故情報収集事業」に参加し、「発生件数情報」「事例情報」について情報提供している。

まとめ

：平成26年度医療安全報告件数において、事故レベル0～3が4,118件(25年度4,445件)で327件(前年比93%)と件数が減少した。レベル1、レベル2が多くを占めた。またレベル3b以上の事案全例について医療安全専門部会及び医療

安全対策委員会にて検討審議し、再発防止策及び改善を講じた。
事故発生時の対応については、平成 26 年度後期医療安全研修会にて、医療事故発生時どのような点に注意し対応をすれば良いのか、初期の患者・家族への謝罪・説明方法など、医療安全マニュアルに準じ、具体的な対応方法について医療安全管理室長が講義し、より一層の医療安全意識の向上を図った。